

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 ツール・ド・北海道開催事業

[0727]

部名	教育部	事業開始年度	平成17年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ツール・ド・北海道事務局
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 国際大会として国内トップレベルの自転車競技大会であり、これに市民が直接触れることができるほか、同時に市民レースも開催されることから、スポーツとしての自転車競技に関心が高まり普及・振興につながる。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 事業運営費の開催地負担として補助する。 ツール・ド・北海道の第3ステージは、江別市内を通過し、道立野幌総合運動公園がフィニッシュ会場として予定されている。補助のほか、フィニッシュ会場での支援やボランティアによるコース整理などの協力も行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	事務局数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	0	0	100	0
活動指標2						
成果指標1	市民の観客人数	人	0	0	450	0
成果指標2	スポーツボランティア人数	人	0	0	10	0
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	100	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	401	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	501	0

費用内訳	
23年度	負担金 補助及び交付金 100千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	3年に1度開催されるツール・ド北海道に対する補助事業で、道立野幌総合運動公園が第3ステージのゴールになっている。	事業を取り巻く環境変化	3年に1度開催される。
--------	--	-------------	-------------

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

自転車競技においてトップレベルの選手を間近に見ることができ、さらに、市民レースには市民自らが参加でき、競技スポーツ振興への貢献が高いことから、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

国際的な競技スポーツにしかに触れることは、競技スポーツの普及につながりひいては市民のスポーツ活動の振興に貢献する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

3年に1度の事業であるが、市民が国際的な競技スポーツに触れる機会となっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

平成20年度以来3年ぶりの事業であり、毎年開催される事業ではない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

平成20年度以来3年ぶりの事業であり、毎年開催される事業ではない。